

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラム=ストーカー		ワークス	レネガイドビーイングA	カヴァー	警備員
	エグザイル		年齢	不明	性別	なし
オプション	覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	40 %
出自	被検体	経験	保護対象	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	1	0	0			1	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	5		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
全乗せ99以下	白兵	10r+6	6	29		攻撃力5+6+10+8
全乗せ100以上: 侵蝕B込み	白兵	14r+6	6	39		攻撃力10+7+12+10

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
携帯なんて持ってないよ					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
遺産継承者: 聖者の遺骨P		N			
諏訪竜子: WH	P 庇護	N 憤懣			
タラスク: YE	P 連帯感	N 憤懣			
	P	N			
	P	N			
	P 親近感	N 隔意			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー3	1	基本+5	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv個、侵蝕LvUPなし								
ハンティングスタイル3	2	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動。離脱可。エンゲージ接触、封鎖の影響を受けない。								
骨の剣5	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン中素手を変更、命中-1、攻撃力+[Lv+5]、ガード値6、射程至近								
オリジン: アニマル5	5	3	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン中素手攻撃力+[Lv*2]、アイテム装備・使用不可								
湯きの主5	1	4	メジャー	至近	単体	白兵	-	
効果: 装甲無視。命中時HP[Lv*4]点回復。要素手								
鮮血の一撃5	4	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 白兵ダイス+[Lv+1]個、HP2点消費								
CL: ブラム=ストーカー3	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
獣の力5	4	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 白兵攻撃力+[Lv*2]								
不死者の恩寵3	2	5	クリナップ	至近	自身	自動	-	
効果: HP[(Lv+2)D+肉体]点回復、戦闘以外は1シーン1回								
無限の血肉3	1	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果: 前提:<不死者の恩寵>。重症中使用可。戦闘不能時に使用。戦闘不能、HPをLvD点まで回復								
スプリングシールド3	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード時に宣言、ガード中ガード値+10								
海の恩恵	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 水中ペナなし。陸と同じように行動できる								
生体侵入	1	4	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 意識ない相手の身体にぬるり								

【経歴】
 とある実験施設で遺産の適合実験やEXレネガイドを使った実験を行っていた。そこでは数多の動物が犠牲になり、彼らの死体は廃棄場へと投げ捨てられた。その廃棄場で生まれたのがギーだが、球に状況確認もできないまま死体を捨てて来た研究員に見つかり、捕獲される。レネガイドビーイングということから遺産に適合しやすいのではと聖者の遺骨を埋め込まれ、適合する。実験が次の段階へ行くところで実験体たちの保護を目的とした者たちが研究所へ乗り込んでくる。優しい言葉をかけられるも、新たな人間に怯えてのちの保護者を害すも抵抗もやり返しもしられずに不思議に思う。その直後大勢の人間たちに怯えた実験体たちが暴走。のちの保護者はすぐさま止めに入った。しかし実験体たちを鎮圧することは難しく、苦戦する人間たちを見て思わず手助けする。騒ぎが収まり、改めて顔を合わせる。その時に会話もしてなんやかんや保護された。

【対人間】
 殆どの人間に対して不信任、敵愾心を持つ。保護者だけは別。レネビの対人間への好奇心がないこともないが、殆どの人間に対しては不信任や敵愾心の方が強い。

【人間姿】
 青い髪の少年、または青年。大きさは固定されていない。獣の意識が多いので二足歩行で歩くの下手。人間名はギルベルト、またはギル。人間の姿をしている時は大体こちらで呼ばれる。なお本人(?)がその名前を出すときは「ぎーえろ」とちゃんと叫ぶ。発音難しい。獣の意識～なので喋るの下手。ギーが反応しやすい名前を保護者がつけた。

【個体姿】